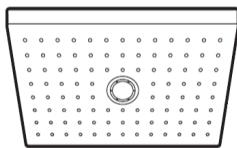


# サザナ HTシリーズ Fタイプ スッキリ棚水栓アーチハンドル(寒冷地用) 天井に オーバーヘッドシャワーがあるタイプ

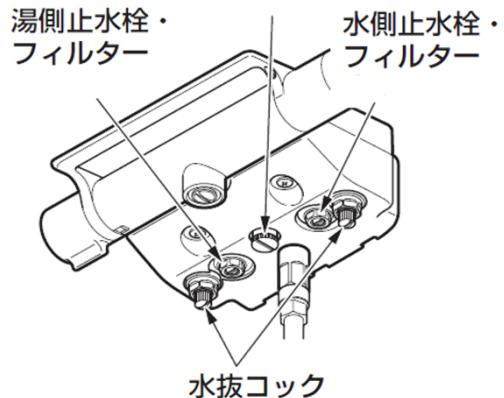
オーバーヘッドシャワー



寒冷地用水栓は、底面に水抜コックがあります

寒冷地用

水抜コック(オーバー  
ヘッドシャワーの場合のみ)



凍結予防方法

P 2、3

通水再開方法

P 4

水抜きを行っても 通水再開後、水が出ない場合の対応方法

P4

通水再開後に流量が変わった場合の対応方法

P5

万一 凍結した場合の対応方法

P 6

凍結後、温度がずれている場合の調整方法

P6、7

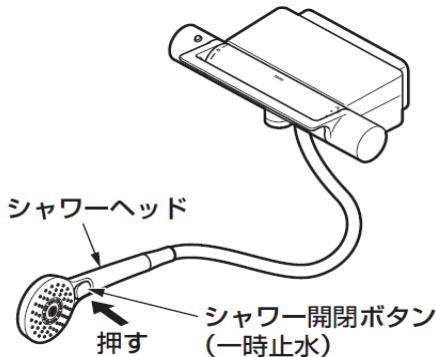
# 凍結予防方法

## 1. 水栓の水抜きをする前に

配管内の水を抜いてください。

配管内の水を抜いていない場合、水栓内の水が十分に抜けず、凍結のおそれがあります。

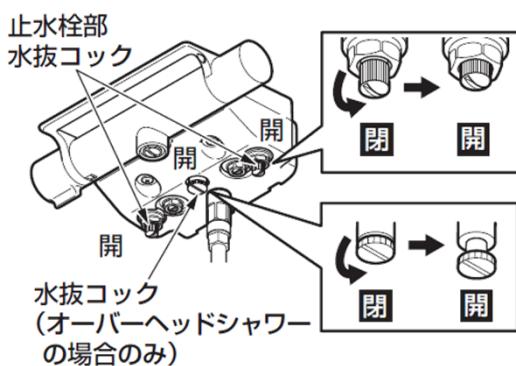
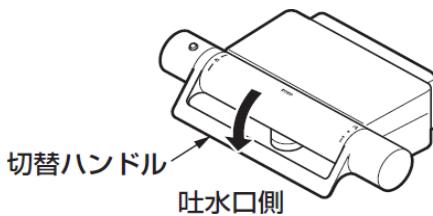
## 2. 水栓の水抜き方法



- 1 シャワーがクリックタイプ（シャワーヘッドにボタンあり）の場合は、シャワー開閉ボタンを押して“開”にする。

- 2 シャワーHEADを床近くに置く。

- 3 切替ハンドルを吐水口側いっぱいに回す。



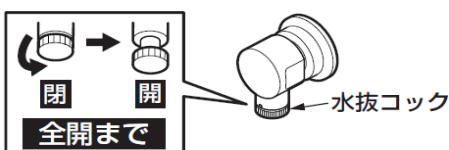
- 4 水抜コックをすべて開ける。

空気を取り入れ、水を抜けやすくなります。

- 水抜コック：2カ所

※オーバーヘッドシャワーの場合：3カ所

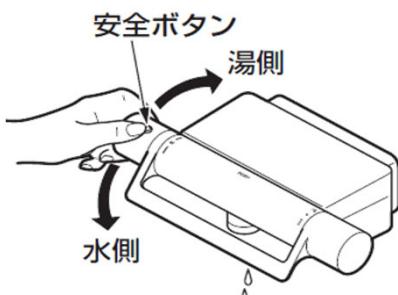
### オーバーヘッドシャワー(オプション品)タイプ<sup>°</sup>



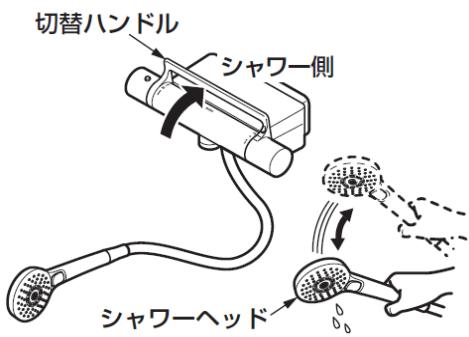
### オーバーヘッドシャワー(オプション品)タイプ<sup>°</sup>

- 水抜コック：1カ所

オーバーヘッドシャワー(オプション品)タイプの水抜きコックは全開まで回してください。



- 5 安全ボタンを押したまま、温度調節ハンドルを湯側 ⇄ 水側と複数回切り替え、スパウトから水を抜く。  
確実に水を抜くため。

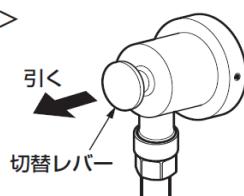


- 6 吐水口から水が出なくなったら  
切替ハンドルをシャワー側  
いっぱいに回してホース内の水を抜く。

- 7 シャワーヘッドは、下向きにし、よく振って中の水を抜いてから、床に置く。

#### オーバーヘッドシャワー(オプション品)タイプ

<切替弁>

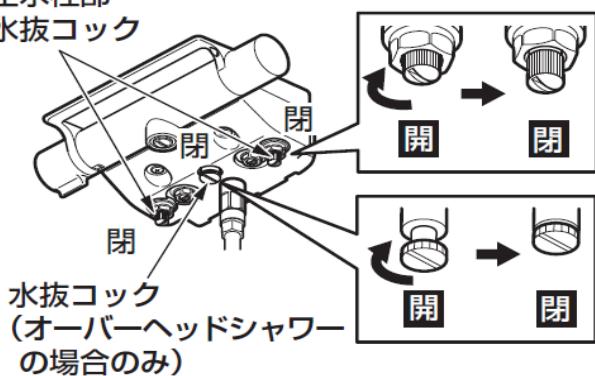


オーバーヘッドシャワー(オプション品)の場合は、  
水抜き完了まで切替レバーを手前に引き続ける。

- 8 確実に水が抜けたことを確認する。

※水抜きが不十分な場合、  
凍結破損のおそれがあります。

#### 止水栓部 水抜コック



- 9 水抜コック・切替(開閉)ハンドルを閉める。

⇒水抜き完了

●水抜コック：2カ所

※オーバーヘッドシャワーの場合：3カ所

#### オーバーヘッドシャワー(オプション品)タイプ

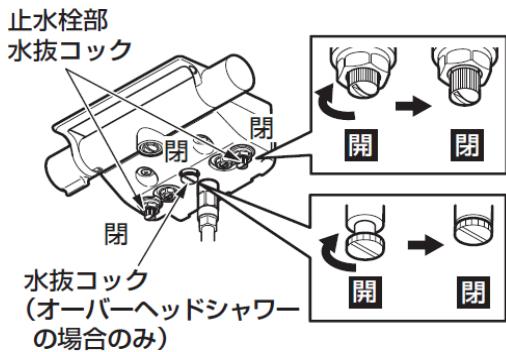
<水抜栓>



#### オーバーヘッドシャワー(オプション品)タイプ

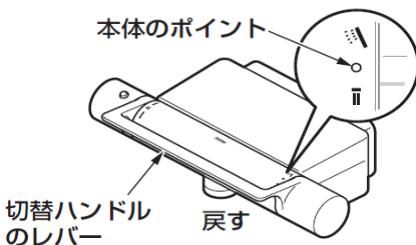
●水抜コック：1カ所

# 通水再開方法



## オーバーヘッドシャワー(オプション品)タイプ

### <水抜栓>



1

すべての水抜コックが閉まっていることを確認する。

- 水抜コック：2カ所

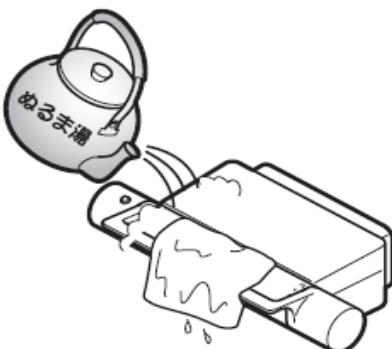
※オーバーヘッドシャワーの場合：3カ所

## オーバーヘッドシャワー(オプション品)タイプ

- 水抜コック：1カ所

2

切替ハンドルのレバーが本体の  
ポイントの位置まで戻っていることを確認し、  
通水を再開する。

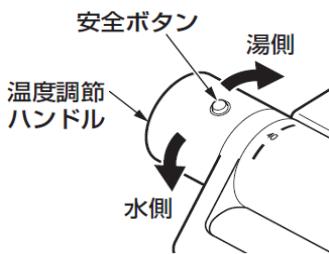


水抜きを行っても吐水口の網目やフィルターに付着した水滴が  
凍り、通水後も少しの間、水が出ない場合があります。  
そのときはタオルなどの布を巻き付け、  
しみこませるようにゆっくりとぬるま湯をかけてください。

## 通水再開後に流量が変わった場合の対応方法

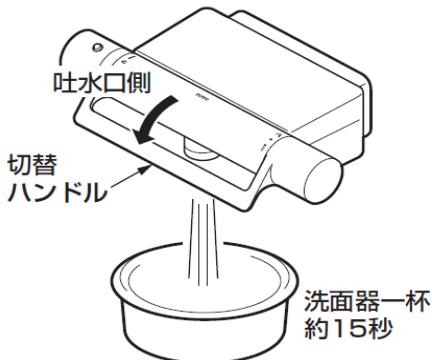


湯側の流量調節をするときはやけどに十分に注意してください。



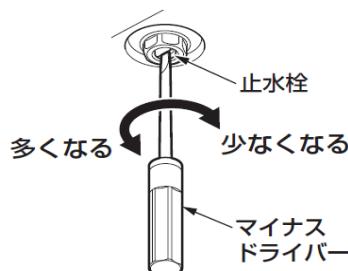
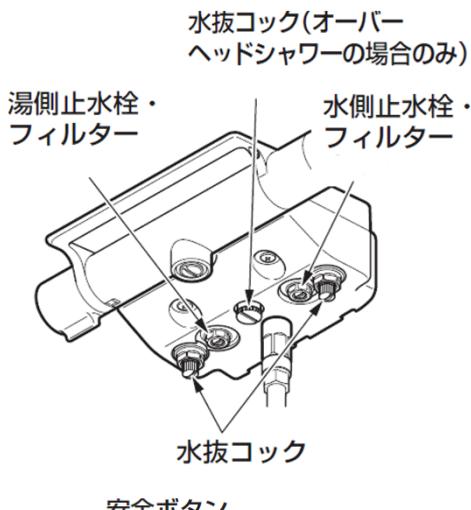
1

温度調節ハンドルを下(水側)いっぱいに回し、  
切替ハンドルを吐水口側いっぱいに回す。  
吐水口から水が出ます。



2

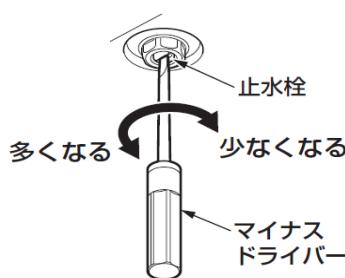
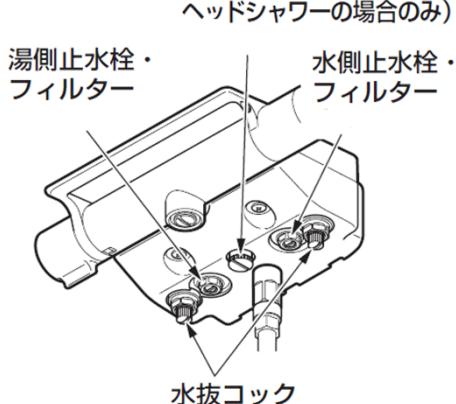
流量が15L/分程度(洗面器一杯にするのに  
約15秒弱)になるように水側止水栓で調節する。  
時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに  
回すと多くなります。



湯側の流量調節をするときはやけどに十分に注意してください。

3

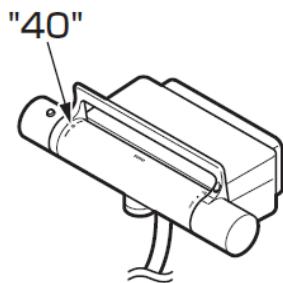
安全ボタンを押しながら温度調節ハンドルを  
上(湯側)いっぱいに回し、  
②と同じように湯側止水栓で流量を  
調節する。



## 万一凍結した場合の対応方法



凍結すると、設定温度がずれて、やけどのおそれがあります。

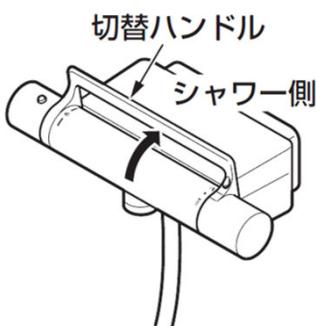


万一、凍結した場合は、  
通水再開後の吐水時に温度調節ハンドルの目盛り  
"40"と吐水温度があつてはいるか確認してください。

## 温度がずれている場合の調整方法



凍結すると、設定温度がずれて、やけどのおそれがあります。



準備するもの：精密ドライバー、温度計

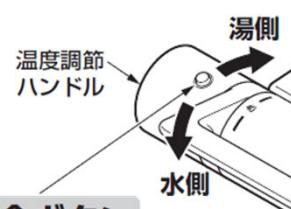
1

切替ハンドルをシャワー側いっぱいに回してください。  
シャワーから水が出ます。

2

温度調節ハンドルを目盛りに関係なく  
適温（約40°C）の湯が出る位置まで回す。

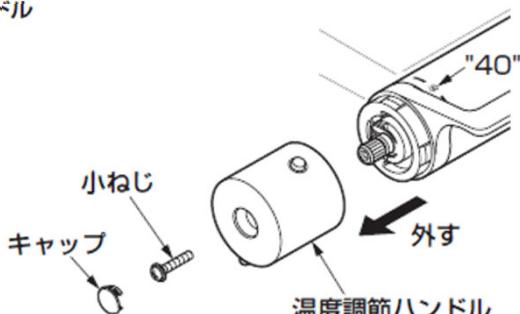
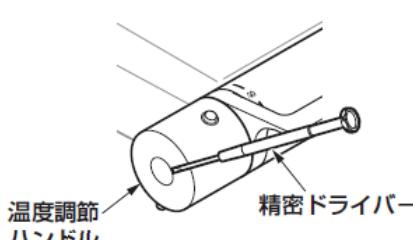
※温度調節ハンドルは目盛り"40"を超えた付近で  
ロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、  
安全ボタンを押しながら回してください。



3

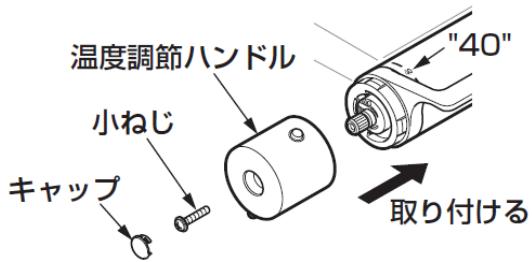
温度調節ハンドルを外す。②

温度調節ハンドルが回らないように注意して  
キャップ・小ねじを外してハンドルを抜き取ってください。



※ハンドルの取り扱いには十分に注意してください。

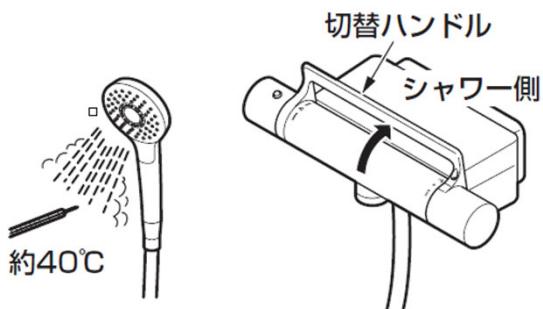
落下させるのがをしたり、ハンドルが  
変形するおそれがあります。



4

温度調節ハンドルを取り付ける。

安全ボタンと目盛り"40"の文字とポイントをあわせて  
温度調節ハンドルをはめ込み、小ねじで固定して  
キャップを取り付けてください。



5

固定後に適温(約40°C)の湯が出ているか  
確認する。